

# レーゼクライス塾通信

(1999 年 第 3 号) (11 月 17 日発行)



「離れ業」(この言葉が通じなければ、それは、第 2 号を読んでいないことになります。差し上げます。)を使うと、通信発行の頻度が上がります。このペースなら、月 2 回の発行も可能かも知れません。また、通信をご家庭の方々に「見せない」人があることも判明しました。そうすると、郵送しかありません。(ただし、郵送料は「見せない」人持ちで!)塾内のことは、できるだけ共有しようと思っていますから、面倒でも見せてあげて下さいね。



(1999/11/16)

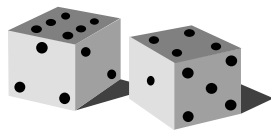
【どこかにスタッフはいませんか!】上の「就職難」の時代に、スタッフが不足しているというのに、なかなか新しい人材がいません。人手不足で、留守番は「フェニックス」ということもあります。最近では、毎日開けていた 3 号館も週 2 回は閉館という状態です。(これから中 3 のやる気のある諸君が出てきたときのことを考えると、何とかしなければなりません。)確かに、レーゼクライスの要求は、ある意味で「キツク」、中途半端な心構えでは勤まりませんが、それだけに、鍛えられる面も大きい。(つまり本当の意味で『やりがい』がある)と思うのですが。だれか、いませんか?

【今日は目が回った!】昨夜(15 日夜)から今日(16 日)にかけて、私だけが関ったことを列挙すると、「中 3 の歴史テスト作成」(入試問題集から、教科書チェックをしながら問題を作成する作業です。中部地方全県の問題に目を通し、現在の教科書との対応を検討し、かつ過去の「診断テスト」の出題を



チェックし……。そしてワープロ打ち。これだけで 4 時間は

かかります。),「高 3 のセンター国語」(一通り問題を解き、問題点を検討する。),「小 6 実力テスト検討」(間違いの多い問題に目を通す。),「中 3 の英語入試問題検討(今日は富山県と滋賀県)」(質問に答えられるよう、一通り解き、検討しておく。これは、でも 30 分かな。),「高 1 数学マニュアル作り(確率)」(4step 問題集のヒント



集。)それで、勿論、それらの授業もする訳です。そうしたこちらの努力を知ってか知らずにか、中には「いいかげんな」対応をする者がまだ数人います。そうした時、「怒り」は感じないんですね。むしろ、「かわいそう」という感じがな。何でもそうなんです。自分の状態を『客観的に見る眼』がないんですね。でも、それはやはり、そうした「欠落した眼」が何らかの『厳しい事態』を引き起こすまでは、感受されないものなのかも知れません。どうやら、歴史は繰り返しそうです!残念ですが。でも、救いもあるんですね。そうしたこちらの熱意を(知ってか知らずにか)受けて、それを自らの努力という形で返し、めきめきと力をつけているのが手に取るように分かる諸君がいるんですね。さあ、頑張らなくっちゃ!

【嬉しいメール】インターネットの世界では、やはり、思いも寄らない方からメールをいただくことがあります。レーゼクライスは、どうも「普通の塾」とは違ったところがあるんだな、とその時思います。そして、そうした『一種の励まし』にも、「ユンケル効果」はあるようです。やはり、原則を固守しなければ、と思うのです。ネットの世界は、確実に広がっていますね。思いもかけない出会いから、また新たな意欲と新しい連帯の形も出てきそうですね!



(1999/11/15)

【ちょっといい言葉その 2】列のカレンダーには、毎月違った『ちょっといい言葉』が掲載されています。今月のいい言葉を、ちょっとアレンジしてみま

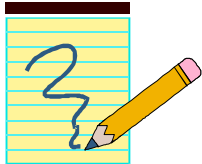
した。《注意されたり批判されたりしたことを悩んだり「反批判」するより、改めることへの努力が必要である。なぜなら、注意や批判は、周りの『好意』なのですから。》勿論、謂れない誹謗などには、毅然とした態度で臨むべきだとは思いますが、注意や批判を「好意」と受け取るという姿勢には、受け取る側の『度量』のようなものが推し量られます。できるなら、『自分の内への眼』を磨きたいものですね！

【高3センター対策中間報告】センター試験対策を開始して2ヶ月余りたちました。現状は、平均で昨年のレベルを若干下回っています。確かに、



昨年よりいわゆる「できる」部分も多いのですが、まだまだ努力不足の諸君が見受けられ、それが平均点の悪さになって現れているように思います。そろそろ『復習』テストを入れながら（「活」も入れながら！）、まず昨年レベルには到達するようにしなければ！（『復習』するときに初めて身に付くんですよ！）

【「学校成績」至上主義からの脱却を！】平日頃の授業の中でいつも感じていることが、『再テスト』



をするとはっきりと見えてくるものがあります。最近では、各中学でもいわゆる「宿題」や「提出物」が数多くあり、そうした

ものをある程度真面目にやらなければ、それなりの「成績」はとれません。それなりの「成績」をとっていても（くれぐれも「それなり」であって、抜群という訳ではありません。）、塾の宿題をしなかったり、授業中に必要な持ってくるものを持っていなかったり、テスト勉強をしていなかったりする子が結構います。（その逆は数えるほどしかいません）再テストなどは、それぞれの不十分さを反省し、それを取り返す『契機』ですから、満点でもおかしくないのに、そうした子も数えるほどしかいません。言葉に出して言わなくても、そういう時の子供たちの態

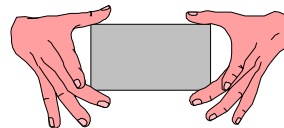
度からありありと感じることが、「学校でいい成績をとれば・・・」という姿勢です。誤解を招かないため、はっきりと言っておくと、「学校成績はどうでもいい」と言っている訳ではありません。問題は、たとえ「理不尽」なもので、「成績」のために受け入れてしまう、という姿勢なのです。（中には、テスト範囲と関係のないテストや採点基準のあいまいなものや、授業でやっていないことを出題するものや、訳の分からない提出物等もありますから。）そうではなくて、子供たち（だけではありませんが）にとって本当に大切なことは、そして、将来的にも必要だと思われることは、やはり『真実』だと『分かる』ことに勇気を持って取り組む姿勢でしょう。たくさんの子供たちを見てきて、そういう『正義感』の持ち主こそが、大きく伸びていくのだと断言できます。それは、単に子供たちだけの問題なのではなくて、家庭の問題でもあり、そして社会の問題でもあるでしょう。



「不正」を、「理想の骨抜き」を、「実利」（？）のために認め、受け入れるという姿勢が、今日露見してきている様々な問題の根底にあると思います。その行き着く先は・・・・・・！

（1999/11/12）

【Yellow Card】今日から「Yellow Card」を発行することにしました。先日の中2の英語の「再テスト」（通常のテストで不合格点...通常6割）で更に不合格点をとった諸君に、授業後の居残りやRTへの出席を一定期間義務づけるものです。その日の課題は、例えば答案作成10枚とか、与える予定です。今後は、集中力の欠けた者やいわゆる「不真面目」な行為をした者に、トイレ掃除等のペナルティを課す「Yellow Card」を出そうと思います！



【これは「悪平等」だろうか？】上の「Yellow Card」もそうなのですが、今まで、いわゆる「遅れ気味」の子（ただし、塾で。学校へ持っていくと、これが

マアマアだったりするんですが) に対して、いろいろな方策を講じてきました。補習をしたり、プリント類を作って提出させたり、個別ノートを作ったり、『デービー』も、元々、そういう子たちのためのものでした。そうすると、そういうプリント費用や人件費はどこから出るのか？それはもちろん、みんなから集めている「運営費」から出る訳ですから、いわゆる「出来のいい子」(そういう子に限って、掃除も熱心したり、手伝いも快くやってくれます!) の出している「運営費」からも、何%かの割合で出ることになります。そうすると、これは、ある意味「不平等」ではないか、という議論も成り立ちます。ただ、そういう議論や疑問を排除するために、例えば「時間数」とか「科目数」とかで、「運営費」を決めていない訳ですが・・・。(中1と中3では、時間数もプリント数も圧倒的に違うんですが、運営費は中学部共通です！...いわゆる「持ち上がり」を前提にしているんですが、「途中編入」の場合は、考えなければならないのかも知れません。)

【野球に「こだわる」のは】この間、「掲示板」でも随分丸亀高校の活躍を書いてきました。どうして？という人もいるでしょうから、その理由(?)を記しておきましょう。 自分の経験から。その昔の「野球部」での活動は、不十分なところもありましたから。(もっとやれた、という想いかな?) 元塾生(中学校のときに在籍し、高校で野球部に入っている者)への期待。今回も(レギュラーではありませんが)、ベンチには入っているはずです。野球部に入ると通塾は無理、というのは問題もありますが。でも、近年(昨年も一昨年も)、野球部活動を終え、「浪人」をし、塾の「予備校部」の一人として「復活(?)」した諸君は、それぞれ



京都大学や大阪大学へ進学していきました。 塾には「応援部」の子もいます。(元「団長」も?) そういう(実は何の利益もない(注...野球部の子たちには「推薦」というのがありますが)応援を頑張っている)子たちがいるから。 その昔、丸高が甲子園へ行っ

たときの感激が忘れられないから。(だよね、K多君...当時中3!) そういえば、「元管理人」も! 夏期合宿とぶつかったときのドタバタは、思い出すと楽しいことばかりでしたね!

#### HP掲示板から

投稿者: K多 投稿日: 11月15日(月)12時32分49秒

「Kたの」くんと神宮に見にいきました。

寒かったし、敦賀気比はめちゃくちゃ強かったし、うどんがなくてまずかった。

すごいホームランも打たれていた。

あまりにも寒くて、5回で帰りました。

まあ、練習試合みたいなものだからいいか。

甲子園に行きたいな

(1999/11/10)

【くやしいけれど】昨年、あれほどの感動を与えてくれた(「表紙を飾った写真集」参照)『くろしお進学会』主催のソフトボール大会に参加しないことにしました。従来、11月の第2土曜日に行われていたのですが、日程が11月27日(第4土曜日)になり、附属が29日から期末試験が始まることもあって、立場上、参加する訳にはいきません。今年の中3は(成績も決して去年に負けていないんですが)、野球をやっていた子も多く、強いチームができるはずでした。でも、続けて「優勝」してしまうと、何かと「風当たり」も強いと思われるので、それもまあしかたのないことでしょう。でも、今の高1の団結(?)を見ると、残念な気もしますね。



(昨年、優勝したときの記念写真...高知佐川にて)

【複素数平面】の図形編の「マニュアル」が完成しました！複素数平面も図形がからんでくるとかなり「面白味」も増しますが、せっかく「面白味」が分かってきたのに、2002年度からの「新課程」で消えてしまいます。「一次変換」が消えたときほどのショックはありませんが、残念ですね。

【今日の中1】授業開始時間（5時20分）にAクラスは、全員そろっています（大体いつも）。Bクラスもだいたいそろっています。しかし、Cクラスは……。ちょっとひどい状態です。「部活」はみんなしていますが、Cクラスの諸君だけが遅刻をするのです。今では、いわゆる部活を「ぬける」ことに（「狂信的な」部活指導者は別にして）それほどの難しさはないはずなのですが、結局、「部活」を選択しているんです。それは、半分以上は家庭の価値観とも繋がっているように思います。確かに、部活もして、勉強もして……。と思う気持ちは分かりますが、部活に「のめりこむ」ことによる意識の拡散は避け難いでしょうし、何より、長時間部活の非合理性は、その悪しき精神主義とも重なって、子供たちの発達の上で、弊害以外の何物でもないと思います。

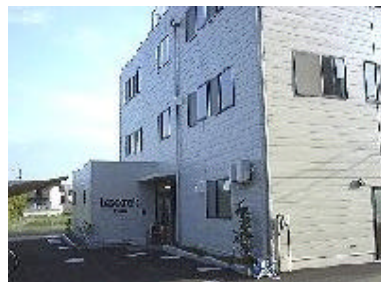
(1999/11/8)

【問題を抱えた子供たち】をどうしたものか、困っています。塾全体からすれば、2～3%なのですが、いろいろな方策を講じて、なかなか『意欲的な学習』にはほど遠い状況です。どこかに原因はあるはずなのですが。ただ、そういう子供たちに共通の傾向があることには気づいています。例えば、《宿題をしていない、あるいは忘れ物をする。怒られる、あるいはいわゆる「説教」をされる。「殊勝」に聞き、「今度から……」と、ニコニコ（ヘラヘラ？）しながら言う。また、同じ事を繰り返す。（3回くらい繰り返したところで）厳しく叱る。ムツとして、怒ったような表情をする》という様子です。自己反省力の欠如とか、いくらでも形容することは

可能なのですが、問題は、恐らく、日常生活において、「ヘラヘラ」の時点で事態を収束させてきたのではないかと想像させることです。心を鬼にして、「厳しく叱ることを継続」する以外に選択肢はそう残されていません。その結果、「退塾」ということになったとしても！

【マニュアル作り】試験対策が終了したとはいえ、丸高では、試験範囲などおかまいなく授業をどんどん進める「個性的な？」教師がいますから、また解かなければならない問題が山積みしています。「マニュアル」も、解答そのものを与えると「解答丸暗記」型の者が出てきますから、難問以外、方針を示すだけに止めてはいます。できるだけ、自力で解いてもらいたいから！でも、そういう「プリント」を作る作業は、大変です。（数 と数 ，作りましたけど！）

今回は、紙面が少し余りました。知らない人もいると思いますので、丸亀に（4号館の南に新しく建設した新館の5号館の写真を載せておきましょう。）



この通信のイラストや写真は、もちろんカラーです。塾のホームページには、PDFファイルの形で通信を掲載しています。ぜひインターネットを！（そうすれば、カラーで通信が読めます！）もちろん、他の有効な使い道もあります。2002年度からは、コンピュータが必修にもなります。塾でも、環境整備を早めて、塾生が手軽にインターネットができるようにする予定です。また、パスワードの設定によって、ホームページに塾内だけの掲示板を設置する予定です。例えば、欠席のときの宿題の連絡や、今の連絡網等も、インターネットが使えれば、と思っています。